

1 | GP-Pro EX へ ようこそ

GP-Pro EX の特長と、表示器の機種別に対応している機能の有無をご紹介します。また、本書のモデル環境についてご説明します。

1.1	GP-Pro EX とは	1-2
1.2	モデル環境	1-5
1.3	機種別サポート機能一覧.....	1-6

1.1 GP-Pro EX とは

GP-Pro EX は (株) デジタル製プログラマブル表示器用の画面作成ソフトです。簡単な操作で画面を編集できます。

1.1.1 特長

- 便利な機能で作画効率 UP
不用意な編集を避ける固定ピン機能や、部品の配置位置の調整が楽にできるガイド表示機能など、作画に便利な機能が満載。簡単に編集できます。
- 豊富なイメージパーツと美しい文字で分かりやすいデザインの画面作成
実物部品に近いイメージパーツを多数ご用意しています。
- 美しく見やすい画面表示
TFT カラーの機種では 65536 色、STN カラーは 4096 色、モノクロでは 16 階調の豊富な表現力。
TFT カラーでは JPEG や BMP などの画像データも美しく表現できます。
- メニューの表示は日本語 / 英語で切り替え可能
設計者の言語に合わせて、メニューなどシステムの表示を日本語 / 英語で切り替えられます。
- 多国語言語の画面が作成できます
日本語、欧米、中国語（簡体字）、中国語（繁体字）、韓国語、キリル文字、タイ語が使用できます。また運転中に言語を切り替えることもできます。
- 複数の異なる接続機器（PLC など）と接続可能
最大 4 種類の接続機器（PLC など）との通信が可能です。同一画面で異なる接続機器のアドレスを同時に扱えます。
- アドレスマップで簡単アドレス割り付け
アドレスマップからドラッグ＆ドロップするだけで、簡単に部品にアドレスを設定できます。
- 制御プログラムが作成できます
表示器から直接外部機器を制御するためのロジックプログラムが簡単に作成できます。ロジックプログラムで使用した変数を部品に割り付けるなど、画面作成と親和した操作が可能です。
- オンラインアップデートで楽々更新
ソフトウェア、マニュアルの更新情報がインターネットで配信され、ダウンロードできます。いつでも最新の状態でお使いいただけます。

1.1.2 GP-Pro EX Ver.2.0 以上で利用できる主な機能

GP-Pro EX Ver1.1 から追加された主な機能や強化された機能についてご紹介します。

- サポート機種充実
GP3000 シリーズに加え、LT3000 シリーズ、IPC シリーズ (PC/AT) の一部の機種に対応しました。
IPC シリーズ (PC/AT) を GP のように使用できます。
- パソコン上でシミュレーションができます
表示器にデータを転送する前に、イメージどおりに動作するかどうかをパソコン上で確認できます。
- コメントや銘板 / 文字列から部品の検索が可能
設定したすべての部品の中から条件にあった部品を検索します。置換も可能です。
- 表示器からパソコン画面を表示・操作できます
表示器にパソコン画面を表示し、タッチで操作できる RPA 機能が使用できます。
- USB ストレージへのデータ保存が可能
CF カード I/F のない機種でも、外部メモリへのデータ保存機能が使用できるようになりました。
また USB ストレージを使った画面転送も可能です。
- 部品の形状選択、配置がさらに便利になりました
部品ツールボックスで、ご用意しているイメージパーツの中から好みのものを選択しドラッグ & ドロップで簡単に配置できます。よく使う部品をお気に入りとして登録することもできます。また部品の色も、カラー設定ウィンドウからドラッグ & ドロップで簡単に変更できます。
- 運転中でもロジックプログラムの編集ができます
- 接続機器 (PLC など) のデータを一覧で確認できます
デバイスモニタ機能で接続機器 (PLC など) の現在値を表示器上に一覧表示し、値を変更できます。
- セキュリティ機能が充実
操作ログの取得が可能になりました。パスワードにユーザー ID を設定することで表示器を操作した人を特定でき、問題発生の原因究明に役立ちます。また、すべての画面でタッチ操作を無効にできるグローバルインターロック機能を対応しました。
- 表示器のリモート操作が可能
パソコンからネットワーク経由で遠隔地にある表示器を操作できます。
- データの印字にネットワークプリンタが使用できます
表示器に LAN 接続されているパソコンをプリンタサーバーとして使用し、ネットワーク上にあるプリンタから表示器内のデータをプリントアウトできます。

1.1.3 GP-Pro EX Ver.2.2 以上で利用できる主な機能

GP-Pro EX Ver.2.2 から追加された主な機能についてご紹介します。

- 部品や描画を画面上で動かしたり色を変化させることができます
画面に配置した部品や描画を、回転させたり移動させたりすることで画面に動きを持たせたり、表示 / 非表示を切り替えることでセキュリティとして使用することができます。また指定したタイミングで色を変化させることで表示内容を強調することもできます。
- 1 台の PLC に対して複数の GP を接続することができます
スレーブ GP は、PLC と接続するマスター GP を中継して PLC にアクセスします。
マスタースレーブ間は、イーサネットなので、複数台接続しても、通信効率が高いままです。また複数台接続した場合、1 台の操作中はほかの GP の操作をロックすることができます。
- ハンディタイプ GP に対応
持ち運び操作できるタイプの GP に対応しました。
- グラフ機能が充実
グラフに便利な機能が追加されました。
基準線や理想線の表示、見たいチャンネルのみの表示、またスケール変更しての表示や、2 つのワードデバイスの値を 1 組としての表示などができます。
- セキュリティ機能がさらに充実
部品にパスワード設定ができるようになりました。セキュリティ設定用の画面を作成する必要がなくなります。操作ログも部品単位で取得することができます。
また、オンライン中でもタッチ操作などでパスワード変更が行えるようになったため、操作者が変わる場合などにパスワードの変更が容易です。
- プロジェクトデータの転送をしなくても文字列テーブルの編集ができます
文字列テーブルデータを CSV 形式で外部ストレージに保存し、GP 上で上書きすることができます。
アラームメッセージや銘板を変更したいとき、データ転送を再度行う必要がありません。
- 1 つの部品に複数のスイッチ機能を設定することができます
1 つのセレクトリスト部品に最大 256 個までのスイッチ機能を設定することができます。スイッチを複数配置する必要がないので画面のスペースを有効活用できます。
- 上位の PC から接続されたすべての GP にメッセージを同時配信できます
回覧メッセージ表示器を配置しておくと、配信されてきたメッセージを GP 上で確認できます。
ウィンドウ画面に配置すると、ほかの画面を表示中でも強制的にメッセージ表示画面に切り替わります。
- LT シリーズの機能充実
LT シリーズで特殊 I/O 命令が使用できるようになり特殊 I/O 機能の制御が容易になりました。
- ロジックステップ数が拡張
ロジックプログラムで設定できるステップ数の上限が 6000 ステップに拡張されました。
- リモート操作のセキュリティ機能を充実
Web Server 機能および GP-Viewer 機能で、遠隔操作での書き込みを一切禁止することができます。
また GP-Viewer 機能で、1 台の GP の操作中はほかの GP からの操作を禁止する設定が可能になります。

1.2 モデル環境

本書で、操作や機能を説明する場合のモデルとなるシステム構成は以下の通りです。

これ以外のシステム構成では、表示や各部の名称が異なることがありますが、同等の機能を持つものと読み替えてください。

標準構成

機材・ソフト	モデルシステムの仕様	備 考
OS	Windows® 2000	—
接続機器	三菱電機（株）製 Q/QnA シリアル コミュニケーションシリーズ	—
表示器	AGP-3500T	ビデオ / 動画機能では AGP-3550T を、ロジックプログラム機能では AGP-3500T-FN1M をモデルとして います。
パソコンと表示器との接 続方法	USB ケーブル接続	（株）デジタル製 USB 転送ケーブ ル CA3-USBCB-01(別売品) 使用

1.3 機種別サポート機能一覧

1.3.1 GP-3200 シリーズ

○:サポート :機種に制限あり ×:非サポート		AGP-3200T	AGP-3200A
GP-3200シリーズ			
256色作画 ^{*1}	☞ 8-35 ページ	○	×
暗色ブリック	☞ 5-146 ページ	○	×
複数の接続機器との同時通信	☞ 7-4 ページ	○ ^{*2}	○ ^{*2}
LAN接続	☞ 7-8 ページ	○	○
モデム転送	☞ 33-49 ページ	○	○
SIO転送(COM接続)	☞ 33-64 ページ	○	○
転送ツールのCFカード接続機能	☞ 33-28 ページ	×	×
CFメモリローダツール機能	☞ 33-36 ページ	×	×
USBメモリローダツール機能	☞ 33-36 ページ	○	○
バックアップSRAMのCF保存	☞ 5-161 ページ	×	×
アラーム履歴(CSV保存)	☞ 19-53 ページ	○ ^{*3}	○ ^{*3}
サンプリングデータ(CSV保存)	☞ 24-20 ページ	○ ^{*3}	○ ^{*3}
レシビ転送(CSVデータ転送)	☞ 25-9 ページ	○ ^{*3}	○ ^{*3}
CSV表示器でのデータ編集	☞ 25-28 ページ	○ ^{*3}	○ ^{*3}
ファイレインデータ保存	☞ 25-40 ページ	○ ^{*3}	○ ^{*3}
ファイルマネージャ機能	☞ 25-82 ページ	○ ^{*3}	○ ^{*3}
CFカード内のJPEGファイル表示	☞ 8-66 ページ	×	×
画面キャプチャ	☞ 11-18 ページ	×	×
AUX	☞ 26-10 ページ	×	×
サウンド出力機能	☞ 26-3 ページ	×	×
動画録画 / 再生機能	☞ 27-11 ページ	×	×
VMユニット接続	☞ 27-49 ページ	×	×
ロジックプログラム機能	☞ 29-3 ページ	×	×
変数設定	☞ 29-25 ページ	○ ^{*4}	○ ^{*4}
変数の保持機能	☞ 29-69 ページ	×	×
I/Oドライバ設定	☞ 30-19 ページ	×	×
RPA 機能	☞ 36-2 ページ	×	×
デバイスモニタ ^{*5}	☞ A-42 ページ	○	○
ラダーモニタ ^{*5}	☞ A-42 ページ	×	×
反転表示	☞ 5-146 ページ	×	○
バックライト2色切替	☞ 5-192 ページ	×	○
バックライト切れ検出	☞ 5-148 ページ	×	×
クロスカーソル表示	-	○	○
縦型設置対応	☞ 5-100 ページ	○	○
ユーザー画面エリア 8Mバイト	☞ 6-5 ページ	×	×
GP-Viewer EX	☞ 37-2 ページ	○	○
Web Server	☞ 37-31 ページ	○	○
GPリモートプリンタサーバ機能	☞ 34-16 ページ	×	×
アニメーション	-	○ ^{*7}	○ ^{*7}
イーサマルチリンク	☞ 7-26 ページ	○ ^{*8}	○ ^{*8}

1 表示色についてはハードウェアマニュアルまたは「8.5.1 カラーを設定する」(8-35 ページ)を参照してください。

2 2 ドライバまで同時接続可能

3 USB ストレージを使用して実現できます。CF カードは使用できません。

4 変数は 1000 点まで設定できます。

5 接続機器の設定に依存されます。

6 ユーザー画面エリアは 6M バイトです。

7 ウィンドウ画面には設定できません。

8 本機種をマスター局とした場合、パフォーマンスが悪くなる恐れがあります。

1.3.2 GP-3300 シリーズ

GP-3300シリーズ		AGP-3302B	AGP-3301L	AGP-3301S	AGP-3300L	AGP-3300S	AGP-3300T
○:サポート :機種に制限あり ×:非サポート							
256色作画 ^{*1}	☞ 8-35 ページ	×	×	○	×	○	○
暗色ブリック	☞ 5-146 ページ	×	×	○	×	○	○
複数の接続機器との同時通信	☞ 7-4 ページ	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}
LAN接続	☞ 7-8 ページ	×	×	×	○	○	○
モデム転送	☞ 33-49 ページ	○	○	○	○	○	○
SIO転送(COM接続)	☞ 33-64 ページ	○	○	○	○	○	○
転送ツールのCFカード接続機能	☞ 33-28 ページ	×	○ ^{*3}	○ ^{*3}	○	○	○
CFメモリローダツール機能	☞ 33-36 ページ	×	○	○	○	○	○
USBメモリローダツール機能	☞ 33-36 ページ	○	○	○	○	○	○
バックアップSRAMのCF保存	☞ 5-161 ページ	×	○	○	○	○	○
アラーム履歴(CSV保存)	☞ 19-53 ページ	○ ^{*4}	○	○	○	○	○
サンプリングデータ(CSV保存)	☞ 24-20 ページ	○ ^{*4}	○	○	○	○	○
レシビ転送(CSVデータ転送)	☞ 25-9 ページ	○ ^{*4}	○	○	○	○	○
CSV表示器でのデータ編集	☞ 25-28 ページ	○ ^{*4}	○	○	○	○	○
ファインリングデータ保存	☞ 25-40 ページ	○ ^{*4}	○	○	○	○	○
ファイルマネージャ機能	☞ 25-82 ページ	○ ^{*4}	○	○	○	○	○
CFカード内のJPEGファイル表示	☞ 8-66 ページ	×	○	○	○	○	○
画面キャプチャ	☞ 11-18 ページ	×	○ ^{*5}	○ ^{*5}	○	○	○
AUX	☞ 26-10 ページ	×	×	×	×	×	×
サウンド出力機能	☞ 26-3 ページ	×	×	×	×	×	×
動画録画 / 再生機能	☞ 27-11 ページ	×	×	×	×	×	×
VMユニット接続	☞ 27-49 ページ	×	×	×	×	×	×
ロジックプログラム機能	☞ 29-3 ページ	×	×	×	○	○	○
変数設定	☞ 29-25 ページ	○ ^{*6}	○ ^{*6}	○ ^{*6}	○ ^{*6}	○ ^{*6}	○ ^{*6}
変数の保持機能	☞ 29-69 ページ	×	×	×	○	○	○
I/Oドライバ設定	☞ 30-19 ページ	×	×	×	×	×	×
RPA機能	☞ 36-2 ページ	×	×	×	×	×	×
デバイスモニタ ^{*7}	☞ A-42 ページ	○	○	○	○	○	○
ラダーモニタ ^{*7}	☞ A-42 ページ	×	×	×	×	×	×
反転表示	☞ 5-146 ページ	○	○	×	○	×	×
バックライト2色切替	☞ 5-192 ページ	×	×	×	×	×	×
バックライト切れ検出	☞ 5-148 ページ	○	○	○	○	○	○
クロスカーソル表示	-	×	×	×	×	×	×
縦型設置対応	☞ 5-100 ページ	○	○	○	○	○	○
ユーザー画面エリア 8Mバイト	☞ 6-5 ページ	×	×	×	×	×	×
GP-Viewer EX	☞ 37-2 ページ	×	×	×	○	○	○
Web Server	☞ 37-31 ページ	×	×	×	○	○	○
GPリモートプリンタサーバ機能	☞ 34-16 ページ	×	×	×	○	○	○
アニメーション	-	○	○ ^{*9*10}	○ ^{*9*10}	○ ^{*9*10}	○ ^{*9*10}	○ ^{*9*10}
イーサマルチリンク	☞ 7-26 ページ	×	×	×	○ ^{*11}	○ ^{*11}	○ ^{*11}

1 表示色についてはハードウェアマニュアルまたは「8.5.1 カラーを設定する」(8-35 ページ)を参照してください。

2 2 ドライバまで同時接続可能

3 USB 転送ケーブル接続時のみサポートしています。

4 USB ストレージを使用して実現できます。CF カードは使用できません。

5 FTP サーバへの画面キャプチャ保存はできません。

6 変数は 6000 点まで設定できます。

7 接続機器の設定に依存されます。

8 ユーザー画面エリアは 6M バイトです。

9 Rev.4 以上の機種のみ対応

10 ウィンドウ画面には設定できません。

11 本機種をマスター局とした場合、パフォーマンスが悪くなる恐れがあります。

■ 制御機能が使用できる機種

GP-3300シリーズ		AGP-3300L-D81	AGP-3300L-FN1M	AGP-3300L-CA1M	AGP-3300S-D81	AGP-3300S-CA1M	AGP-3300T-D81	AGP-3300T-FN1M	AGP-3300T-CA1M
○:サポート :機種に制限あり ×:非サポート									
256色作画 ^{*1}	☞ 8-35 ページ	×	×	×	○	○	○	○	○
暗色ブリック	☞ 5-146 ページ	×	×	×	○	○	○	○	○
複数の接続機器との同時通信	☞ 7-4 ページ	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}
LAN接続	☞ 7-8 ページ	○	○	○	○	○	○	○	○
モデム転送	☞ 33-49 ページ	○	○	○	○	○	○	○	○
SIO転送(COM接続)	☞ 33-64 ページ	○	○	○	○	○	○	○	○
転送ツールのCFカード接続機能	☞ 33-28 ページ	○	○	○	○	○	○	○	○
CFメモリロードツール機能	☞ 33-36 ページ	○	○	○	○	○	○	○	○
USBメモリロードツール機能	☞ 33-36 ページ	○	○	○	○	○	○	○	○
バックアップSRAMのCF保存	☞ 5-161 ページ	○	○	○	○	○	○	○	○
アラーム履歴(CSV保存)	☞ 19-53 ページ	○	○	○	○	○	○	○	○
サンプリングデータ(CSV保存)	☞ 24-20 ページ	○	○	○	○	○	○	○	○
レシビ転送(CSVデータ転送)	☞ 25-9 ページ	○	○	○	○	○	○	○	○
CSV表示器でのデータ編集	☞ 25-28 ページ	○	○	○	○	○	○	○	○
ファイリングデータ保存	☞ 25-40 ページ	○	○	○	○	○	○	○	○
ファイルマネージャ機能	☞ 25-82 ページ	○	○	○	○	○	○	○	○
CFカード内のJPEGファイル表示	☞ 8-66 ページ	○	○	○	○	○	○	○	○
画面キャプチャ	☞ 11-18 ページ	○	○	○	○	○	○	○	○
AUX	☞ 26-10 ページ	×	×	×	×	×	×	×	×
サウンド出力機能	☞ 26-3 ページ	×	×	×	×	×	×	×	×
動画録画/再生機能	☞ 27-11 ページ	×	×	×	×	×	×	×	×
VMユニット接続	☞ 27-49 ページ	×	×	×	×	×	×	×	×
ロジックプログラム機能	☞ 29-3 ページ	○	○	○	○	○	○	○	○
変数設定	☞ 29-25 ページ	○ ^{*3}	○ ^{*3}	○ ^{*3}	○ ^{*3}	○ ^{*3}	○ ^{*3}	○ ^{*3}	○ ^{*3}
変数の保持機能	☞ 29-69 ページ	○	○	○	○	○	○	○	○
I/Oドライバ設定	☞ 30-19 ページ	○	○	○	○	○	○	○	○
RPA機能	☞ 36-2 ページ	×	×	×	×	×	×	×	×
デバイスモニタ ^{*4}	☞ A-42 ページ	○	○	○	○	○	○	○	○
ラダーモニタ ^{*4}	☞ A-42 ページ	×	×	×	×	×	×	×	×
反転表示	☞ 5-146 ページ	○	○	○	×	×	×	×	×
バックライト2色切替	☞ 5-192 ページ	×	×	×	×	×	×	×	×
バックライト切れ検出	☞ 5-148 ページ	○	○	○	○	○	○	○	○
クロスカーソル表示	-	×	×	×	×	×	×	×	×
縦型設置対応	☞ 5-100 ページ	○	○	○	○	○	○	○	○
ユーザー画面エリア 8Mバイト	☞ 6-5 ページ	×	×	×	×	×	×	×	×
GP-Viewer EX	☞ 37-2 ページ	○	○	○	○	○	○	○	○
Web Server	☞ 37-31 ページ	○	○	○	○	○	○	○	○
GPリモートプリンタサーバ機能	☞ 34-16 ページ	○	○	○	○	○	○	○	○
アニメーション	-	○ ^{*6*}	○ ^{*6*}	○ ^{*6*}	○ ^{*6*}	○ ^{*6*}	○ ^{*6*}	○ ^{*6*}	○ ^{*6*}
イーサマルチリンク	☞ 7-26 ページ	○ ^{*6}	○ ^{*6}	○ ^{*6}	○ ^{*6}	○ ^{*6}	○ ^{*6}	○ ^{*6}	○ ^{*6}

1 表示色についてはハードウェアマニュアルまたは「8.5.1 カラーを設定する」(8-35 ページ)を参照してください。

2 2 ドライバまで同時接続可能

3 変数は6000点まで設定できます。

4 接続機器の設定に依存されます。

5 ユーザー画面エリアは6Mバイトです。

6 Rev.4 以上の機種のみ対応

7 ウィンドウ画面には設定できません。

■ HandyGP

○:サポート :機種に制限あり ×:非サポート				
GP-3300シリーズ				
		AGP-3300HL	AGP-3300HS	AGP-3310HT
256色作画 ^{*1}	☞ 8-35 ページ	×	×	×
暗色ブリック	☞ 5-146 ページ	○	○	○
複数の接続機器との同時通信	☞ 7-4 ページ	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}
LAN接続	☞ 7-8 ページ	○	○	○
モデム転送	☞ 33-49 ページ	○	○	○
SIO転送(COM接続)	☞ 33-64 ページ	○	○	○
転送ツールのCFカード接続機能	☞ 33-28 ページ	○	○	○
CFメモリローダツール機能	☞ 33-36 ページ	○	○	○
USBメモリローダツール機能	☞ 33-36 ページ	○	○	○
バックアップSRAMのCF保存	☞ 5-161 ページ	○	○	○
アラーム履歴(CSV保存)	☞ 19-53 ページ	○	○	○
サンプリングデータ(CSV保存)	☞ 24-20 ページ	○	○	○
レシピ転送(CSVデータ転送)	☞ 25-9 ページ	○	○	○
CSV表示器でのデータ編集	☞ 25-28 ページ	○	○	○
ファイリングデータ保存	☞ 25-40 ページ	○	○	○
ファイルマネージャ機能	☞ 25-82 ページ	○	○	○
CFカード内のJPEGファイル表示	☞ 8-66 ページ	×	×	×
画面キャプチャ	☞ 11-18 ページ	×	×	×
AUX	☞ 26-10 ページ	×	×	×
サウンド出力機能	☞ 26-3 ページ	×	×	×
動画録画 / 再生機能	☞ 27-11 ページ	×	×	×
VMユニット接続	☞ 27-49 ページ	×	×	×
ロジックプログラム機能	☞ 29-3 ページ	×	×	×
変数設定	☞ 29-25 ページ	○ ^{*3}	○ ^{*3}	○ ^{*3}
変数の保持機能	☞ 29-69 ページ	×	×	×
I/Oドライバ設定	☞ 30-19 ページ	×	×	×
RPA機能	☞ 36-2 ページ	×	×	×
デバイスモニタ ^{*4}	☞ A-42 ページ	○	○	○
ラダーモニタ ^{*4}	☞ A-42 ページ	×	×	×
反転表示	☞ 5-146 ページ	○	×	×
バックライト2色切替	☞ 5-192 ページ	×	×	×
バックライト切れ検出	☞ 5-148 ページ	○	○	○
クロスカーソル表示	-	×	×	×
縦型設置対応	☞ 5-100 ページ	-	-	-
ユーザー画面エリア 8Mバイト	☞ 6-5 ページ	×	×	○
GP-Viewer EX	☞ 37-2 ページ	○	○	○
Web Server	☞ 37-31 ページ	○	○	○
GPリモートプリンタサーバ機能	☞ 34-16 ページ	×	×	×
アニメーション	-	○ ^{*6}	○ ^{*6}	○ ^{*6}
イーサマルチリンク	☞ 7-26 ページ	○ ^{*7}	○ ^{*7}	○ ^{*7}

1 表示色についてはハードウェアマニュアルまたは「8.5.1 カラーを設定する」(8-35 ページ)を参照してください。

2 2 ドライバまで同時接続可能

3 変数は 1000 点まで設定できます。

4 接続機器の設定に依存されます。

5 ユーザー画面エリアは 6M バイトです。

6 ウィンドウ画面には設定できません。

7 本機種をマスター局とした場合、パフォーマンスが悪くなる恐れがあります。

1.3.3 GP-3400 シリーズ

○:サポート :機種に制限あり ×:非サポート				
GP-3400シリーズ				
		AGP-3400S	AGP-3400T	AGP-3450T
256色作画 ^{*1}	☞ 8-35 ページ	○	○	○
暗色ブリンク	☞ 5-146 ページ	○	○	○
複数の接続機器との同時通信	☞ 7-4 ページ	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}
LAN接続	☞ 7-8 ページ	○	○	○
モデム転送	☞ 33-49 ページ	○	○	○
SIO転送(COM接続)	☞ 33-64 ページ	○	○	○
転送ツールのCFカード接続機能	☞ 33-28 ページ	○	○	○
CFメモリーローダツール機能	☞ 33-36 ページ	○	○	○
USBメモリーローダツール機能	☞ 33-36 ページ	○	○	○
バックアップSRAMのCF保存	☞ 5-161 ページ	○	○	○
アラーム履歴(CSV保存)	☞ 19-53 ページ	○	○	○
サンプリングデータ(CSV保存)	☞ 24-20 ページ	○	○	○
レシビ転送(CSVデータ転送)	☞ 25-9 ページ	○	○	○
CSV表示器でのデータ編集	☞ 25-28 ページ	○	○	○
ファイリングデータ保存	☞ 25-40 ページ	○	○	○
ファイルマネージャ機能	☞ 25-82 ページ	○	○	○
CFカード内のJPEGファイル表示	☞ 8-66 ページ	○	○	○
画面キャプチャ	☞ 11-18 ページ	○	○	○
AUX	☞ 26-10 ページ	○	○	○
サウンド出力機能	☞ 26-3 ページ	○	○	○
動画録画 / 再生機能	☞ 27-11 ページ	×	×	○
VMユニット接続	☞ 27-49 ページ	×	×	×
ロジックプログラム機能	☞ 29-3 ページ	○	○	○
変数設定	☞ 29-25 ページ	○ ^{*3}	○ ^{*3}	○ ^{*3}
変数の保持機能	☞ 29-69 ページ	○	○	○
I/Oドライバ設定	☞ 30-19 ページ	×	×	×
RPA機能	☞ 36-2 ページ	×	○	○
デバイスモニタ ^{*4}	☞ A-42 ページ	○	○	○
ラダーモニタ ^{*4}	☞ A-42 ページ	○	○	○
反転表示	☞ 5-146 ページ	×	×	×
バックライト2色切替	☞ 5-192 ページ	×	×	×
バックライト切れ検出	☞ 5-148 ページ	○	○	○
クロスカーソル表示	-	×	×	×
縦型設置対応	☞ 5-100 ページ	○	○	○
ユーザー画面エリア 8Mバイト	☞ 6-5 ページ	○	○	○
GP-Viewer EX	☞ 37-2 ページ	○	○	○
Web Server	☞ 37-31 ページ	○	○	○
GPリモートプリンタサーバ機能	☞ 34-16 ページ	○	○	○
アニメーション	-	○ ^{*5}	○ ^{*5}	○ ^{*5}
イーサマルチリンク	☞ 7-26 ページ	○	○	○

1 表示色についてはハードウェアマニュアルまたは「8.5.1 カラーを設定する(8-35 ページ)」を参照してください。

2 4 ドライバまで同時接続可能

3 変数は 6000 点まで設定できます。

4 接続機器の設定に依存されます。

5 ウィンドウ画面には設定できません。

■ 制御機能が使用できる機種

○: サポート : 機種に制限あり ×: 非サポート						
GP-3400シリーズ		AGP-3400S-D81	AGP-3400S-CA1M	AGP-3400T-D81	AGP-3400T-FN1M	AGP-3400T-CA1M
256色作画 ^{*1}	☞ 8-35 ページ	○	○	○	○	○
暗色ブリンク	☞ 5-146 ページ	○	○	○	○	○
複数の接続機器との同時通信	☞ 7-4 ページ	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}
LAN接続	☞ 7-8 ページ	○	○	○	○	○
モデム転送	☞ 33-49 ページ	○	○	○	○	○
SIO転送(COM接続)	☞ 33-64 ページ	○	○	○	○	○
転送ツールのCFカード接続機能	☞ 33-28 ページ	○	○	○	○	○
CFメモリローダツール機能	☞ 33-36 ページ	○	○	○	○	○
USBメモリローダツール機能	☞ 33-36 ページ	○	○	○	○	○
バックアップSRAMのCF保存	☞ 5-161 ページ	○	○	○	○	○
アラーム履歴(CSV保存)	☞ 19-53 ページ	○	○	○	○	○
サンプリングデータ(CSV保存)	☞ 24-20 ページ	○	○	○	○	○
レシビ転送(CSVデータ転送)	☞ 25-9 ページ	○	○	○	○	○
CSV表示器でのデータ編集	☞ 25-28 ページ	○	○	○	○	○
ファイリングデータ保存	☞ 25-40 ページ	○	○	○	○	○
ファイルマネージャ機能	☞ 25-82 ページ	○	○	○	○	○
CFカード内のJPEGファイル表示	☞ 8-66 ページ	○	○	○	○	○
画面キャプチャ	☞ 11-18 ページ	○	○	○	○	○
AUX	☞ 26-10 ページ	○	○	○	○	○
サウンド出力機能	☞ 26-3 ページ	○	○	○	○	○
動画録画 / 再生機能	☞ 27-11 ページ	×	×	×	×	×
VMユニット接続	☞ 27-49 ページ	×	×	×	×	×
ロジックプログラム機能	☞ 29-3 ページ	○	○	○	○	○
変数設定	☞ 29-25 ページ	○ ^{*3}	○ ^{*3}	○ ^{*3}	○ ^{*3}	○ ^{*3}
変数の保持機能	☞ 29-69 ページ	○	○	○	○	○
I/Oドライバ設定	☞ 30-19 ページ	×	○	○	×	○
RPA機能	☞ 36-2 ページ	×	×	×	○	○
デバイスモニタ ^{*4}	☞ A-42 ページ	○	○	○	○	○
ラダーモニタ ^{*4}	☞ A-42 ページ	○	○	○	○	○
反転表示	☞ 5-146 ページ	×	×	×	×	×
バックライト2色切替	☞ 5-192 ページ	×	×	×	×	×
バックライト切れ検出	☞ 5-148 ページ	○	○	○	○	○
クロスカーソル表示	-	×	×	×	×	×
縦型設置対応	☞ 5-100 ページ	○	○	○	○	○
ユーザー画面エリア 8Mバイト	☞ 6-5 ページ	○	○	○	○	○
GP-Viewer EX	☞ 37-2 ページ	○	○	○	○	○
Web Server	☞ 37-31 ページ	○	○	○	○	○
GPリモートプリンタサーバ機能	☞ 34-16 ページ	○	○	○	○	○
アニメーション	-	○ ^{*5}	○ ^{*5}	○ ^{*5}	○ ^{*5}	○ ^{*5}
イーサマルチリンク	☞ 7-26 ページ	○	○	○	○	○

1 表示色についてはハードウェアマニュアルまたは「8.5.1 カラーを設定する」(8-35 ページ)を参照してください。

2 4 ドライバまで同時接続可能

3 変数は 6000 点まで設定できます。

4 接続機器の設定に依存されます。

5 ウィンドウ画面には設定できません。

1.3.4 GP-3500 シリーズ

GP-3500シリーズ		AGP-3500L	AGP-3500S	AGP-3500T	AGP-3510T	AGP-3550T	AGP-3560T
○:サポート :機種に制限あり ×:非サポート							
256色作画 ^{*1}	☞ 8-35 ページ	×	○	○	○	○	○
暗色ブリンク	☞ 5-146 ページ	×	○	○	○	○	○
複数の接続機器との同時通信	☞ 7-4 ページ	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}
LAN接続	☞ 7-8 ページ	○	○	○	○	○	○
モデム転送	☞ 33-49 ページ	○	○	○	○	○	○
SIO転送(COM接続)	☞ 33-64 ページ	○	○	○	○	○	○
転送ツールのCFカード接続機能	☞ 33-28 ページ	○	○	○	○	○	○
CFメモリローダツール機能	☞ 33-36 ページ	○	○	○	○	○	○
USBメモリローダツール機能	☞ 33-36 ページ	○	○	○	○	○	○
バックアップSRAMのCF保存	☞ 5-161 ページ	○	○	○	○	○	○
アラーム履歴(CSV保存)	☞ 19-53 ページ	○	○	○	○	○	○
サンプリングデータ(CSV保存)	☞ 24-20 ページ	○	○	○	○	○	○
レシビ転送(CSVデータ転送)	☞ 25-9 ページ	○	○	○	○	○	○
CSV表示器でのデータ編集	☞ 25-28 ページ	○	○	○	○	○	○
ファイルングデータ保存	☞ 25-40 ページ	○	○	○	○	○	○
ファイルマネージャ機能	☞ 25-82 ページ	○	○	○	○	○	○
CFカード内のJPEGファイル表示	☞ 8-66 ページ	○	○	○	○	○	○
画面キャプチャ	☞ 11-18 ページ	○	○	○	○	○	○
AUX	☞ 26-10 ページ	○	○	○	○	○	○
サウンド出力機能	☞ 26-3 ページ	○	○	○	○	○	○
動画録画 / 再生機能	☞ 27-11 ページ	×	×	×	×	○	○
VMユニット接続	☞ 27-49 ページ	×	×	○	○	○	○
ロジックプログラム機能	☞ 29-3 ページ	○	○	○	○	○	○
変数設定	☞ 29-25 ページ	○ ^{*3}	○ ^{*3}	○ ^{*3}	○ ^{*3}	○ ^{*3}	○ ^{*3}
変数の保持機能	☞ 29-69 ページ	○	○	○	○	○	○
I/Oドライバ設定	☞ 30-19 ページ	×	×	×	×	×	×
RPA機能	☞ 36-2 ページ	×	×	○	○	○	○
デバイスモニタ ^{*4}	☞ A-42 ページ	○	○	○	○	○	○
ラダーモニタ ^{*4}	☞ A-42 ページ	○	○	○	○	○	○
反転表示	☞ 5-146 ページ	○	×	×	×	×	×
バックライト2色切替	☞ 5-192 ページ	×	×	×	×	×	×
バックライト切れ検出	☞ 5-148 ページ	○	○	○	○	○	○
クロスカーソル表示	-	×	×	×	×	×	×
縦型設置対応	☞ 5-100 ページ	○	○	○	○	○	○
ユーザー画面エリア 8Mバイト	☞ 6-5 ページ	○	○	○	○	○	○
GP-Viewer EX	☞ 37-2 ページ	○	○	○	○	○	○
Web Server	☞ 37-31 ページ	○	○	○	○	○	○
GPリモートプリンタサーバ機能	☞ 34-16 ページ	○	○	○	○	○	○
アニメーション	-	○ ^{*5}	○ ^{*5}	○ ^{*5}	○ ^{*5}	○ ^{*5}	○ ^{*5}
イーサマルチリンク	☞ 7-26 ページ	○	○	○	○	○	○

1 表示色についてはハードウェアマニュアルまたは「8.5.1 カラーを設定する」(8-35 ページ)を参照してください。

2 4 ドライバまで同時接続可能

3 変数は 6000 点まで設定できます。

4 接続機器の設定に依存されます。

5 ウィンドウ画面には設定できません。

■ 制御機能が使用できる機種

GP-3500シリーズ		AGP-3500L-D81	AGP-3500S-D81	AGP-3500S-CA1M	AGP-3500T-D81	AGP-3500T-FN1M	AGP-3500T-CA1M	AGP-3510T-CA1M
○: サポート : 機種に制限あり ×: 非サポート								
256色作画 ^{*1}	☞ 8-35 ページ	×	○	○	○	○	○	○
暗色ブリック	☞ 5-146 ページ	×	○	○	○	○	○	○
複数の接続機器との同時通信	☞ 7-4 ページ	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}
LAN接続	☞ 7-8 ページ	○	○	○	○	○	○	○
モデム転送	☞ 33-49 ページ	○	○	○	○	○	○	○
SIO転送(COM接続)	☞ 33-64 ページ	○	○	○	○	○	○	○
転送ツールのCFカード接続機能	☞ 33-28 ページ	○	○	○	○	○	○	○
CFメモリローダツール機能	☞ 33-36 ページ	○	○	○	○	○	○	○
USBメモリローダツール機能	☞ 33-36 ページ	○	○	○	○	○	○	○
バックアップSRAMのCF保存	☞ 5-161 ページ	○	○	○	○	○	○	○
アラーム履歴(CSV保存)	☞ 19-53 ページ	○	○	○	○	○	○	○
サンプリングデータ(CSV保存)	☞ 24-20 ページ	○	○	○	○	○	○	○
レシビ転送(CSVデータ転送)	☞ 25-9 ページ	○	○	○	○	○	○	○
CSV表示器でのデータ編集	☞ 25-28 ページ	○	○	○	○	○	○	○
ファイリングデータ保存	☞ 25-40 ページ	○	○	○	○	○	○	○
ファイルマネージャ機能	☞ 25-82 ページ	○	○	○	○	○	○	○
CFカード内のJPEGファイル表示	☞ 8-66 ページ	○	○	○	○	○	○	○
画面キャプチャ	☞ 11-18 ページ	○	○	○	○	○	○	○
AUX	☞ 26-10 ページ	○	○	○	○	○	○	○
サウンド出力機能	☞ 26-3 ページ	○	○	○	○	○	○	○
動画録画 / 再生機能	☞ 27-11 ページ	×	×	×	×	×	×	×
VMユニット接続	☞ 27-49 ページ	×	×	×	○	○	○	○
ロジックプログラム機能	☞ 29-3 ページ	○	○	○	○	○	○	○
変数設定	☞ 29-25 ページ	○ ^{*3}	○ ^{*3}	○ ^{*3}	○ ^{*3}	○ ^{*3}	○ ^{*3}	○ ^{*3}
変数の保持機能	☞ 29-69 ページ	○	○	○	○	○	○	○
I/Oドライバ設定	☞ 30-19 ページ	○	○	○	○	○	○	○
RPA機能	☞ 36-2 ページ	×	×	×	○	○	○	○
デバイスモニタ ^{*4}	☞ A-42 ページ	○	○	○	○	○	○	○
ラダーモニタ ^{*4}	☞ A-42 ページ	○	○	○	○	○	○	○
反転表示	☞ 5-146 ページ	○	×	×	×	×	×	×
バックライト2色切替	☞ 5-192 ページ	×	×	×	×	×	×	×
バックライト切れ検出	☞ 5-148 ページ	○	○	○	○	○	○	○
クロスカーソル表示	-	×	×	×	×	×	×	×
縦型設置対応	☞ 5-100 ページ	○	○	○	○	○	○	○
ユーザー画面エリア 8Mバイト	☞ 6-5 ページ	○	○	○	○	○	○	○
GP-Viewer EX	☞ 37-2 ページ	○	○	○	○	○	○	○
Web Server	☞ 37-31 ページ	○	○	○	○	○	○	○
GPリモートプリンタサーバ機能	☞ 34-16 ページ	○	○	○	○	○	○	○
アニメーション	-	○ ^{*5}	○ ^{*5}	○ ^{*5}	○ ^{*5}	○ ^{*5}	○ ^{*5}	○ ^{*5}
イーサマルチリンク	☞ 7-26 ページ	○	○	○	○	○	○	○

1 表示色についてはハードウェアマニュアルまたは「8.5.1 カラーを設定する」(8-35 ページ)を参照してください。

2 4 ドライバまで同時接続可能

3 変数は 6000 点まで設定できます。

4 接続機器の設定に依存されます。

5 ウィンドウ画面には設定できません。

1.3.5 GP-3600/3700 シリーズ

○:サポート :機種に制限あり ×:非サポート GP-3600/3700シリーズ		AGP-3600T	AGP-3650T	AGP-3750T
256色作画 ^{*1}	☞ 8-35 ページ	○	○	○
暗色ブリンク	☞ 5-146 ページ	○	○	○
複数の接続機器との同時通信	☞ 7-4 ページ	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}
LAN接続	☞ 7-8 ページ	○	○	○
モデム転送	☞ 33-49 ページ	○	○	○
SIO転送(COM接続)	☞ 33-64 ページ	○	○	○
転送ツールのCFカード接続機能	☞ 33-28 ページ	○	○	○
CFメモリローダツール機能	☞ 33-36 ページ	○	○	○
USBメモリローダツール機能	☞ 33-36 ページ	○	○	○
バックアップSRAMのCF保存	☞ 5-161 ページ	○	○	○
アラーム履歴(CSV保存)	☞ 19-53 ページ	○	○	○
サンプリングデータ(CSV保存)	☞ 24-20 ページ	○	○	○
レシピ転送(CSVデータ転送)	☞ 25-9 ページ	○	○	○
CSV表示器でのデータ編集	☞ 25-28 ページ	○	○	○
ファイリングデータ保存	☞ 25-40 ページ	○	○	○
ファイルマネージャ機能	☞ 25-82 ページ	○	○	○
CFカード内のJPEGファイル表示	☞ 8-66 ページ	○	○	○
画面キャプチャ	☞ 11-18 ページ	○	○	○
AUX	☞ 26-10 ページ	○	○	○
サウンド出力機能	☞ 26-3 ページ	○	○	○
動画録画 / 再生機能	☞ 27-11 ページ	×	○	○
VMユニット接続	☞ 27-49 ページ	○	○	×
ロジックプログラム機能	☞ 29-3 ページ	○	○	○
変数設定	☞ 29-25 ページ	○ ^{*3}	○ ^{*3}	○ ^{*3}
変数の保持機能	☞ 29-69 ページ	○	○	○
I/Oドライバ設定	☞ 30-19 ページ	×	×	×
RPA機能	☞ 36-2 ページ	○	○	○
デバイスモニタ ^{*4}	☞ A-42 ページ	○	○	○
ラダーモニタ ^{*4}	☞ A-42 ページ	○	○	○
反転表示	☞ 5-146 ページ	×	×	×
バックライト2色切替	☞ 5-192 ページ	×	×	×
バックライト切れ検出	☞ 5-148 ページ	○	○	○
クロスカーソル表示	-	×	×	×
縦型設置対応	☞ 5-100 ページ	○	○	○
ユーザー画面エリア 8Mバイト	☞ 6-5 ページ	○	○	○
GP-Viewer EX	☞ 37-2 ページ	○	○	○
Web Server	☞ 37-31 ページ	○	○	○
GPリモートプリンタサーバ機能	☞ 34-16 ページ	○	○	○
アニメーション	-	○ ^{*5}	○ ^{*5}	○ ^{*5}
イーサマルチリンク	☞ 7-26 ページ	○	○	○

1 表示色についてはハードウェアマニュアルまたは「8.5.1 カラーを設定する」(8-35 ページ)を参照してください。

2 4 ドライバまで同時接続可能

3 変数は 6000 点まで設定できます。

4 接続機器の設定に依存されます。

5 ウィンドウ画面には設定できません。

■ 制御機能が使用できる機種

○: サポート : 機種に制限あり ×: 非サポート				
GP-3600/3700シリーズ		AGP-3600T-D81	AGP-3600T-FN1M	AGP-3600T-CA1M
256色作画 ^{*1}	☞ 8-35 ページ	○	○	○
暗色ブリック	☞ 5-146 ページ	○	○	○
複数の接続機器との同時通信	☞ 7-4 ページ	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}
LAN接続	☞ 7-8 ページ	○	○	○
モデム転送	☞ 33-49 ページ	○	○	○
SIO転送(COM接続)	☞ 33-64 ページ	○	○	○
転送ツールのCFカード接続機能	☞ 33-28 ページ	○	○	○
CFメモリローダツール機能	☞ 33-36 ページ	○	○	○
USBメモリローダツール機能	☞ 33-36 ページ	○	○	○
バックアップSRAMのCF保存	☞ 5-161 ページ	○	○	○
アラーム履歴(CSV保存)	☞ 19-53 ページ	○	○	○
サンプリングデータ(CSV保存)	☞ 24-20 ページ	○	○	○
レシビ転送(CSVデータ転送)	☞ 25-9 ページ	○	○	○
CSV表示器でのデータ編集	☞ 25-28 ページ	○	○	○
ファイリングデータ保存	☞ 25-40 ページ	○	○	○
ファイルマネージャ機能	☞ 25-82 ページ	○	○	○
CFカード内のJPEGファイル表示	☞ 8-66 ページ	○	○	○
画面キャプチャ	☞ 11-18 ページ	○	○	○
AUX	☞ 26-10 ページ	○	○	○
サウンド出力機能	☞ 26-3 ページ	○	○	○
動画録画 / 再生機能	☞ 27-11 ページ	×	×	×
VMユニット接続	☞ 27-49 ページ	○	○	○
ロジックプログラム機能	☞ 29-3 ページ	○	○	○
変数設定	☞ 29-25 ページ	○ ^{*3}	○ ^{*3}	○ ^{*3}
変数の保持機能	☞ 29-69 ページ	○	○	○
I/Oドライバ設定	☞ 30-19 ページ	○	○	○
RPA機能	☞ 36-2 ページ	○	○	○
デバイスモニタ ^{*4}	☞ A-42 ページ	○	○	○
ラダーモニタ ^{*4}	☞ A-42 ページ	○	○	○
反転表示	☞ 5-146 ページ	×	×	×
バックライト2色切替	☞ 5-192 ページ	×	×	×
バックライト切れ検出	☞ 5-148 ページ	○	○	○
クロスカーソル表示	-	×	×	×
縦型設置対応	☞ 5-100 ページ	○	○	○
ユーザー画面エリア 8Mバイト	☞ 6-5 ページ	○	○	○
GP-Viewer EX	☞ 37-2 ページ	○	○	○
Web Server	☞ 37-31 ページ	○	○	○
GPリモートプリンタサーバ機能	☞ 34-16 ページ	○	○	○
アニメーション	-	○ ^{*5}	○ ^{*5}	○ ^{*5}
イーサマルチリンク	☞ 7-26 ページ	○	○	○

1 表示色についてはハードウェアマニュアルまたは「8.5.1 カラーを設定する」(8-35 ページ)を参照してください。

2 4 ドライバまで同時接続可能

3 変数は 6000 点まで設定できます。

4 接続機器の設定に依存されます。

5 ウィンドウ画面には設定できません。

1.3.6 LT3000 シリーズ

○:サポート :機種に制限あり ×:非サポート		LT-3201A	LT-3300L	LT-3300S	LT-3301L
LT3200/3300シリーズ					
256色作画 ^{*1}	☞ 8-35 ページ	×	×	○	×
暗色ブリンク	☞ 5-146 ページ	×	×	○	×
複数の接続機器との同時通信	☞ 7-4 ページ	×	×	×	×
LAN接続	☞ 7-8 ページ	×	○	○	×
モデム転送	☞ 33-49 ページ	○	○	○	○
SIO転送(COM接続)	☞ 33-64 ページ	○	○	○	○
転送ツールのCFカード接続機能	☞ 33-28 ページ	×	×	×	×
CFメモリロードツール機能	☞ 33-36 ページ	×	×	×	×
USBメモリロードツール機能	☞ 33-36 ページ	○	○	○	○
バックアップSRAMのCF保存	☞ 5-161 ページ	×	×	×	×
アラーム履歴(CSV保存)	☞ 19-53 ページ	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}
サンプリングデータ(CSV保存)	☞ 24-20 ページ	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}
レシビ転送(CSVデータ転送)	☞ 25-9 ページ	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}
CSV表示器でのデータ編集	☞ 25-28 ページ	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}
ファイルリングデータ保存	☞ 25-40 ページ	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}
ファイルマネージャ機能	☞ 25-82 ページ	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}
CFカード内のJPEGファイル表示	☞ 8-66 ページ	×	×	×	×
画面キャプチャ	☞ 11-18 ページ	×	○ ^{*3}	○ ^{*3}	○ ^{*3}
AUX	☞ 26-10 ページ	×	×	×	×
サウンド出力機能	☞ 26-3 ページ	×	×	×	×
動画録画 / 再生機能	☞ 27-11 ページ	×	×	×	×
VMユニット接続	☞ 27-49 ページ	×	×	×	×
ロジックプログラム機能	☞ 29-3 ページ	○	○	○	○
変数設定	☞ 29-25 ページ	○ ^{*4}	○ ^{*4}	○ ^{*4}	○ ^{*4}
変数の保持機能	☞ 29-69 ページ	○	○	○	○
I/Oドライバ設定	☞ 30-19 ページ	○	○	○	○
RPA機能	☞ 36-2 ページ	×	×	×	×
デバイスモニタ ^{*5}	☞ A-42 ページ	×	○	○	○
ラダーモニタ ^{*5}	☞ A-42 ページ	×	×	×	×
反転表示	☞ 5-146 ページ	○	○	×	○
バックライト2色切替	☞ 5-192 ページ	○	×	×	×
バックライト切れ検出	☞ 5-148 ページ	○	○	○	○
クロスカーソル表示	-	×	×	×	×
縦型設置対応	☞ 5-100 ページ	×	○	○	○
ユーザー画面エリア 8Mバイト	☞ 6-5 ページ	×	×	×	×
GP-Viewer EX	☞ 37-2 ページ	×	×	×	×
Web Server	☞ 37-31 ページ	×	×	×	×
GPリモートプリンタサーバ機能	☞ 34-16 ページ	×	○	○	×
アニメーション	-	×	×	×	×
イーサマルチリンク	☞ 7-26 ページ	×	×	×	×

1 表示色についてはハードウェアマニュアルまたは「8.5.1 カラーを設定する(8-35 ページ)」を参照してください。

2 USB ストレージを使用して実現できます。CF カードは使用できません。

3 CF カードへの画面キャプチャ保存はできません。

4 変数は6000点まで設定できます。

5 接続機器の設定に依存されます。

6 ユーザー画面エリアは6M バイトです。

1.3.7 IPC シリーズ (PC/AT)

■ PC/AT、PL シリーズ

○:サポート :機種に制限あり ×:非サポート								
PC/AT、PL シリーズ		PC/AT	APL-3000B	APL-3600T	APL-3600K	APL-3700T	APL-3700K	APL-3900T
256色作画 ^{*1}	☞ 8-35 ページ	-	○	○	○	○	○	○
暗色ブリンク	☞ 5-146 ページ	-	○	○	○	○	○	○
複数の接続機器との同時通信	☞ 7-4 ページ	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}
LAN接続	☞ 7-8 ページ	○	○	○	○	○	○	○
モデム転送	☞ 33-49 ページ	×	×	×	×	×	×	×
SIO転送(COM接続)	☞ 33-64 ページ	×	×	×	×	×	×	×
転送ツールのCFカード接続機能	☞ 33-28 ページ	○	○	○	○	○	○	○
CFメモリローダツール機能	☞ 33-36 ページ	×	×	×	×	×	×	×
USBメモリローダツール機能	☞ 33-36 ページ	×	×	×	×	×	×	×
バックアップSRAMのCF保存	☞ 5-161 ページ	○	○	○	○	○	○	○
アラーム履歴(CSV保存)	☞ 19-53 ページ	○	○	○	○	○	○	○
サンプリングデータ(CSV保存)	☞ 24-20 ページ	○	○	○	○	○	○	○
レシピ転送(CSVデータ転送)	☞ 25-9 ページ	○	○	○	○	○	○	○
CSV表示器でのデータ編集	☞ 25-28 ページ	○	○	○	○	○	○	○
ファイレインデータ保存	☞ 25-40 ページ	○	○	○	○	○	○	○
ファイルマネージャ機能	☞ 25-82 ページ	○	○	○	○	○	○	○
CFカード内のJPEGファイル表示	☞ 8-66 ページ	○	○	○	○	○	○	○
画面キャプチャ	☞ 11-18 ページ	○ ^{*3}	○ ^{*4}	○ ^{*4}	○ ^{*4}	○ ^{*3}	○ ^{*3}	○ ^{*3}
AUX	☞ 26-10 ページ	×	×	×	×	×	×	×
サウンド出力機能	☞ 26-3 ページ	○	○	○	○	○	○	○
動画録画 / 再生機能	☞ 27-11 ページ	×	×	×	×	×	×	×
VMユニット接続	☞ 27-49 ページ	×	×	×	×	×	×	×
ロジックプログラム機能	☞ 29-3 ページ	×	×	×	×	×	×	×
変数設定	☞ 29-25 ページ	○ ^{*4}	○ ^{*4}	○ ^{*4}	○ ^{*4}	○ ^{*4}	○ ^{*4}	○ ^{*4}
変数の保持機能	☞ 29-69 ページ	×	×	×	×	×	×	×
I/Oドライバ設定	☞ 30-19 ページ	×	×	×	×	×	×	×
RPA機能	☞ 36-2 ページ	×	×	×	×	×	×	×
デバイスモニタ ^{*5}	☞ A-42 ページ	○	○	○	○	○	○	○
ラダーモニタ ^{*5}	☞ A-42 ページ	×	×	×	×	×	×	×
反転表示	☞ 5-146 ページ	×	×	×	×	×	×	×
バックライト2色切替	☞ 5-192 ページ	-	×	×	×	×	×	×
バックライト切れ検出	☞ 5-148 ページ	×	×	×	×	×	×	×
クロスカーソル表示	-	×	×	×	×	×	×	×
縦型設置対応	☞ 5-100 ページ	-	×	×	×	×	×	×
ユーザー画面エリア 8Mバイト	☞ 6-5 ページ	○ ^{*6}	○ ^{*6}	○ ^{*6}	○ ^{*6}	○ ^{*6}	○ ^{*6}	○ ^{*6}
GP-Viewer EX	☞ 37-2 ページ	○	○	○	○	○	○	○
Web Server	☞ 37-31 ページ	×	×	×	×	×	×	×
GPリモートプリンタサーバ機能	☞ 34-16 ページ	×	×	×	×	×	×	×
アニメーション	-	○ ^{*7}	○ ^{*7}	○ ^{*7}	○ ^{*7}	○ ^{*7}	○ ^{*7}	○ ^{*7}
イーサマルチリンク	☞ 7-26 ページ	○	○	○	○	○	○	○

1 表示色についてはハードウェアマニュアルまたは「8.5.1 カラーを設定する」(8-35 ページ)を参照してください。

2 4 ドライバまで同時接続可能

3 FTP サーバへの画面キャプチャ保存はできません。

4 変数は 6000 点まで設定できます。

5 接続機器の設定に依存されます。

6 ユーザー画面エリアは 16MB です。

7 ウィンドウ画面には設定できません。

■ PS シリーズ

PSシリーズ		PS-2000B	PS-3450A	PS-3451A	PS-3650A	PS-3651A	PS-3700A	PS-3710A	PS-3711A
○:サポート :機種に制限あり ×:非サポート									
256色作画 ^{*1}	☞ 8-35 ページ	○	○	○	○	○	○	○	○
暗色ブリック	☞ 5-146 ページ	○	○	○	○	○	○	○	○
複数の接続機器との同時通信	☞ 7-4 ページ	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}
LAN接続	☞ 7-8 ページ	○	○	○	○	○	○	○	○
モデム転送	☞ 33-49 ページ	×	×	×	×	×	×	×	×
SIO転送(COM接続)	☞ 33-64 ページ	×	×	×	×	×	×	×	×
転送ツールのCFカード接続機能	☞ 33-28 ページ	○	○	○	○	○	○	○	○
CFメモリローダツール機能	☞ 33-36 ページ	×	×	×	×	×	×	×	×
USBメモリローダツール機能	☞ 33-36 ページ	×	×	×	×	×	×	×	×
バックアップSRAMのCF保存	☞ 5-161 ページ	○	○	○	○	○	○	○	○
アラーム履歴(CSV保存)	☞ 19-53 ページ	○	○	○	○	○	○	○	○
サンプリングデータ(CSV保存)	☞ 24-20 ページ	○	○	○	○	○	○	○	○
レシビ転送(CSVデータ転送)	☞ 25-9 ページ	○	○	○	○	○	○	○	○
CSV表示器でのデータ編集	☞ 25-28 ページ	○	○	○	○	○	○	○	○
ファイリングデータ保存	☞ 25-40 ページ	○	○	○	○	○	○	○	○
ファイルマネージャ機能	☞ 25-82 ページ	○	○	○	○	○	○	○	○
CFカード内のJPEGファイル表示	☞ 8-66 ページ	○	○	○	○	○	○	○	○
画面キャプチャ	☞ 11-18 ページ	○ ^{*3}	○ ^{*3}	○ ^{*3}	○ ^{*3}	○ ^{*3}	○ ^{*3}	○ ^{*3}	○ ^{*3}
AUX	☞ 26-10 ページ	×	×	×	×	×	×	×	×
サウンド出力機能	☞ 26-3 ページ	○	○	○	○	○	○	○	○
動画録画 / 再生機能	☞ 27-11 ページ	×	×	×	×	×	×	×	×
VMユニット接続	☞ 27-49 ページ	×	×	×	×	×	×	×	×
ロジックプログラム機能	☞ 29-3 ページ	×	×	×	×	×	×	×	×
変数設定	☞ 29-25 ページ	○ ^{*4}	○ ^{*4}	○ ^{*4}	○ ^{*4}	○ ^{*4}	○ ^{*4}	○ ^{*4}	○ ^{*4}
変数の保持機能	☞ 29-69 ページ	×	×	×	×	×	×	×	×
I/Oドライバ設定	☞ 30-19 ページ	×	×	×	×	×	×	×	×
RPA 機能	☞ 36-2 ページ	×	×	×	×	×	×	×	×
デバイスモニタ ^{*5}	☞ A-42 ページ	○	○	○	○	○	○	○	○
ラダーモニタ ^{*5}	☞ A-42 ページ	×	×	×	×	×	×	×	×
反転表示	☞ 5-146 ページ	×	×	×	×	×	×	×	×
バックライト2色切替	☞ 5-192 ページ	×	×	×	×	×	×	×	×
バックライト切れ検出	☞ 5-148 ページ	×	×	×	×	×	×	×	×
クロスカーソル表示	-	×	×	×	×	×	×	×	×
縦型設置対応	☞ 5-100 ページ	×	×	×	×	×	×	×	×
ユーザー画面エリア 8Mバイト	☞ 6-5 ページ	○ ^{*6}	○ ^{*6}	○ ^{*6}	○ ^{*6}	○ ^{*6}	○ ^{*6}	○ ^{*6}	○ ^{*6}
GP-Viewer EX	☞ 37-2 ページ	○	○	○	○	○	○	○	○
Web Server	☞ 37-31 ページ	×	×	×	×	×	×	×	×
GPリモートプリンタサーバ機能	☞ 34-16 ページ	×	×	×	×	×	×	×	×
アニメーション	-	○ ^{*7}	○ ^{*7}	○ ^{*7}	○ ^{*7}	○ ^{*7}	○ ^{*7}	○ ^{*7}	○ ^{*7}
イーサマルチリンク	☞ 7-26 ページ	○	○	○	○	○	○	○	○

1 表示色についてはハードウェアマニュアルまたは「8.5.1 カラーを設定する」(8-35 ページ)を参照してください。

2 4 ドライバまで同時接続可能

3 FTP サーバへの画面キャプチャ保存はできません。

4 変数は6000点まで設定できます。

5 接続機器の設定に依存されます。

6 ユーザー画面エリアは16MBです。

7 ウィンドウ画面には設定できません。

1.3.8 ST3000 シリーズ

○:サポート :機種に制限あり ×:非サポート		AST-3201A (SIO)	AST-3211A (MPI)	AST-3301B	AST-3301S	AST-3401T	AST-3501C	AST-3501T
ST3000シリーズ								
256色作画 ^{*1}	-	×	×	×	○	○	×	○
暗色ブリック	☞ 5-146 ページ	×	×	×	○	○	○	○
複数の接続機器との同時通信	☞ 7-4 ページ	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}	○ ^{*2}
LAN接続	☞ 7-8 ページ	×	×	×	×	×	×	×
モデム転送	☞ 33-49 ページ	○	○	○	○	○	○	○
SIO転送 (COM接続)	☞ 33-64 ページ	○	○	○	○	○	○	○
転送ツールのCFカード接続機能	☞ 33-28 ページ	×	×	×	×	○ ^{*3}	○ ^{*3}	○ ^{*3}
CFメモリローダツール機能	☞ 33-36 ページ	×	×	×	×	○	○	○
USBメモリローダツール機能	☞ 33-36 ページ	○	○	○	○	○	○	○
バックアップSRAMのCF保存	☞ 5-161 ページ	×	×	×	×	○	○	○
アラーム履歴 (CSV保存)	☞ 19-53 ページ	○ ^{*4}	○ ^{*4}	○ ^{*4}	○ ^{*4}	○	○	○
サンプリングデータ (CSV保存)	☞ 24-20 ページ	○ ^{*4}	○ ^{*4}	○ ^{*4}	○ ^{*4}	○	○	○
レシビ転送 CSVデータ転送)	☞ 25-9 ページ	○ ^{*4}	○ ^{*4}	○ ^{*4}	○ ^{*4}	○	○	○
CSV表示器でのデータ編集	☞ 25-28 ページ	○ ^{*4}	○ ^{*4}	○ ^{*4}	○ ^{*4}	○	○	○
ファインリングデータ保存	☞ 25-40 ページ	○ ^{*4}	○ ^{*4}	○ ^{*4}	○ ^{*4}	○	○	○
ファイルマネージャ機能	☞ 25-82 ページ	○ ^{*4}	○ ^{*4}	○ ^{*4}	○ ^{*4}	○	○	○
CFカード内のJPEGファイル表示	☞ 8-66 ページ	×	×	×	×	×	×	×
画面キャプチャ	☞ 11-18 ページ	×	×	×	×	×	×	×
AUX	☞ 26-10 ページ	×	×	×	×	×	×	×
サウンド出力機能	☞ 26-3 ページ	×	×	×	×	×	×	×
動画録画 / 再生機能	☞ 27-11 ページ	×	×	×	×	×	×	×
VMユニット接続	☞ 27-49 ページ	×	×	×	×	×	×	×
ロジックプログラム機能	☞ 29-3 ページ	×	×	×	×	×	×	×
変数設定	☞ 29-25 ページ	×	×	×	×	×	×	×
変数の保持機能	☞ 29-69 ページ	×	×	×	×	×	×	×
I/Oドライバ設定	☞ 30-19 ページ	×	×	×	×	×	×	×
RPA 機能	☞ 36-2 ページ	×	×	×	×	×	×	×
デバイスモニタ ^{*6}	☞ A-42 ページ	○	○	○	○	○	○	○
ラダーモニタ ^{*6}	☞ A-42 ページ	×	×	×	×	×	×	×
反転表示	☞ 5-146 ページ	○	○	○	×	×	×	×
バックライト2色切替	☞ 5-192 ページ	○	○	×	×	×	×	×
バックライト切れ検出	☞ 5-148 ページ	×	×	×	×	×	×	×
クロスカーソル表示	-	○	○	○	○	○	○	○
縦型設置対応	☞ 5-100 ページ	○	○	○	○	○	○	○
ユーザー画面エリア 8Mバイト	☞ 6-5 ページ	×	×	×	×	×	×	×
GP-Viewer EX	☞ 37-2 ページ	×	×	×	×	×	×	×
Web Server	☞ 37-31 ページ	×	×	×	×	×	×	×
GPリモートプリンタサーバ機能	☞ 34-16 ページ	×	×	×	×	×	×	×

1 表示色についてはハードウェアマニュアルまたは「8.5.1 カラーを設定する」(8-35 ページ)を参照してください。

2 2 ドライバまで同時接続可能

3 USB 転送ケーブル接続時のみサポートしています。

4 USB ストレージを使用して実現できます。CF カードは使用できません。

5 変数は 1000 点まで設定できます。

6 接続機器の設定に依存されます。

7 ユーザー画面エリアは 6M バイトです。

